

先週の園児の姿	感じる・気付く力 うごく力 考える力 やりぬく力 人とかかわる力 ○園庭に出ると急いで倉庫に向かい、三輪車やランニングバイクを出そうとする。以前はすぐに「先生～」と叫んで来ていたが、横に寄せたり持ち上げたりしながら奥にある三輪車も自分で出そうとする姿が見られる。同じような遊びをしている友達を見つけて「一緒にいく?」「よーいどん!」と一緒に楽しんでいる。 ○クリスマスの話やサンタクロースからのプレゼントについて報告をしあい、クリスマスの曲を歌って嬉しい気分を共有している。カラー積み木でステージを作り、CDをかけて踊ったり楽器を鳴らして楽しむ姿が見られる。 ○園庭の隅で盛り込み虫を探している。「おらんねえ...」「あっちかね?」「ん...おらんねえ...」「寒いけ～おうち帰ったんじゃろ」「そうかね」虫がなかなか見つからなくなってきたことに気づき、なぜなのだろうと考えている。寒いから出てこないのかもと考えたり、他の場所にいるかもしれないと探したりする姿が見られる。草の中に隠れていたテントウムシを見つけ大事そうに捕まえて友達に見せている子もいる。		○期のねらい ○生活習慣を身に付け、進んで体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○友達の関わりを広げ、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ○イメージや感覚を豊かに、興味関心をもって遊ぶ。				
	生命の保持 ●感染症予防のため保健衛生に留意し、健康的に過ごせるようにしていく。 ◆感染症予防の為、綿目に換気や加湿をしたり、手洗い指導を行ったりする。また、嘔吐物処理や消毒などを行い、感染症拡大防止に努める。 ◆体調に留意しながら、寒さに負けず健康な体作りができるよう、外気に触れて遊ぶ時間を作っていく。 ★健康観察を綿目に行い、一人一人の健康状態を把握する。		○週のねらい・内容 ○寒さに負けず、友達や保育教諭と一緒に積極的に身体を動かして遊ぶ。 ・マラソンや固定遊具、凧揚げなどを通して、しっかり走って身体を温めながら遊ぶ。 ○友達や保育教諭と気持ちが通じ合う喜びを感じ合いながら、言葉のやりとりを楽しんで遊ぶ。 ・お正月の過ごし方や家での出来事など、喜んで友達や保育教諭に伝えたり、友達の話を聞いたりする。 ○友達を誘い合ったり、友達の遊びに興味を持ったりして、好きな遊びを選び楽しむ。 ・お絵描きやごっこ遊びなどを通して、好きな遊びを選んで友達と一緒に遊びを楽しむ。				
養護	情緒の安定 ●自分でしようとする姿を受け止めながら自信を持って活動することで自己肯定感を育んでいく。 ◆一人一人とじっくりと関わる時間を作ったり、温かいまなざしを向けたりしていく。 ★自分で出来るようになったことや、自分でしようとする姿を認め、自信が持てるようにしていく。						
教育・保育	寒さに負けず、友達や保育教諭と一緒に積極的に身体を動かして遊ぶように ◇風を感じながら遊びを楽しむことが、身体を動かして遊ぶ喜びにつながるよう風を留意する。 ◇手足をしっかりと動かして遊ぶように、握ったり漕いだりできる玩具を用意しておく。 ○三輪車 ○ランニングバイク ○ボール ○マラソン ○凧あげ ○固定遊具 ○地域散策 ☆身体を動かして遊ぶ心地良さを感じられるように、保育教諭も一緒に遊びの楽しさを共感する言葉をかけたり、笑顔で接したりする。 ☆動かしてみようとする気持ちを引き出すように、身体を支え安心感が持てるようにしたり、励ましたりしていく。						
☆◇保育環境等の援助	友達が保育教諭と気持ちが通じ合う喜びを感じ合いながら、言葉のやりとりを楽しめるように ◇言葉の表出を引き出せるように、ゆったり待ったり、問いかけたりする時間を作っていく。 ○お絵描き ○ままごと ○絵本 ○カプラ ○給食・おやつ ☆お正月の家での出来事について話を聞きながら、言葉を引き出していけるように関わっていく。また、伝える喜びや友達の話を興味を持って聞かれるようにしていく。 ☆友達とのいざこざの時には、両者の思いを汲み取り代弁していき、思いが受け止められた喜びを感じられるようにしていく。						
	生活習慣・家庭との連携 ○園のリズムを取り戻し、生活リズムを整え、健康的に過ごす。 ○正月休み明けの子どもの状態を伝え合い、生活リズムを整えていけるように連携をとる。						
月日	1月 6日(月)	1月 7日(火)	1月 8日(水)	1月 9日(木)	1月 10日(金)	1月 11日(土)	
週行事 みんなでする遊び	安全の日・交通安全指導 戸外で遊ぼう (固定遊具・ランニングバイク・三輪車)	組・組と一緒に 地域散策に行こう 寺初詣	支援室 凧を作ろう 凧揚げをして遊ぼう	支援室		異年齢児保育	
ねらいに対する評価	○久しぶりの登園で生活リズムが崩れていて保育者と一緒に遊ぶ姿も見られたが、思いを受け止めスキンシップをとることで安心感となり、自分の好きな遊びを楽しんでいた。 また、たこあげや初詣等の行事ならはのことも保育者に取り入れることで友達の関わりを深めたり、感じたことや気づいたことを自分なりの言葉で表現する姿もあり、言語力も広がってきている。			保育資料	○歌(お正月・コンコンシャンのうた・たこあげ) ○絵本(いろいろおせち)となりました。あけましておめでとう・おせち・月刊絵本) ○手遊び(いとまき・こんべさんのあかちゃん)		

言葉でのやり取りが豊かになり友達や先生との気持ちも通じ合って遊びの楽しさを感じていました。